

京都市多文化施策懇話会の今後の取組みについて

ニューカマー、留学生数の増大など（※末尾に参考データ）外国籍市民等を取り巻く状況が変化していることも踏まえ、国際化推進プランに掲げられている多文化が息づくまち、外国籍市民等が暮らしやすく、活躍できるまちづくりの推進について議論を深めてゆく。

(1) 趣 旨

国際化推進プランを踏まえ、外国籍市民や外国にルーツを持つ市民の生活を取巻く問題の解決と生活支援といった視点にあわせて、地域コミュニティにおいて、多様な背景を持つ住民同士が、ともに心豊かに、安心・安全な生活を送れるよう、多文化共生の地域づくりを目指した議論を行っていく。

(2) 議 題

前述の趣旨を踏まえ、国際化推進プラン「多文化が息づくまち・京都」（多文化共生のまちづくりについての章）の推進項目に鑑みつつ議題設定を行う。

○多文化共生の地域づくり

（住民同士がともに心豊かに、安心・安全な生活を送れる地域づくりを目指し、市民が相互に努力することや行政の支援などについて検討）

○コミュニケーション支援

（情報提供・相談事業の充実、日本語及び日本社会に関する学習の支援などについて検討）

○生活支援

（教育・子育て支援の充実、福祉・保健・医療の充実、防災対策の充実、留学生や就学生等に対する支援の充実などについて検討）

さらに、国際化推進プランに掲げる「世界がときめくまち・京都」（歴史・文化・学術都市としての魅力発信についての章）「世界とつながるまち・京都」（市民主体の国際交流、国際協力の推進についての章）というテーマも視野に入れて議論を深める。

(3) 要綱および委員選任要領の変更

公募委員の募集要件に、外国人登録者だけでなく、日本国籍取得者、日本人との国際結婚により生まれた子及び中国帰国者等も広く含めることとして、名称を多文化施策懇話会に変更した。

※＜参考データ＞

(1) 外国籍市民の状況

韓国・朝鮮籍の減少⑨ 43,390人（79.3%）→㉑ 41,295人（62.3%）

中国籍の増加 ⑨ 4,539人（10.5%）→㉑ 9,029人（21.9%）

フィリピン籍の増加⑨ 554人（1.3%）→㉑ 1,005人（2.4%）

(2) 留学生の状況

留学生数の増大（⑨約2,500人 →㉑4,688人 目標：㉑10,000人）